

東海支部愛知地域会 2025年度第10回役員会議事録

日 時 : 2025年3月27日(金) 16:30~18:15
場 所 : 昭和ビル5階 会議室 (名古屋市中区栄四丁目3番26号)

※WEB会議を併用

出 席 : 野々川光昭 地域会長 西村和哉 本部理事・副地域会長
(順不同・敬称略) 近藤万記子 高木耕一 間瀬高歩 各副地域会長
下線: オンライン出席
澤村喜久夫 会長補佐 森哲哉 直前地域会長
笹野直之 内藤正隆 東福大輔 川本直義 寺田智之 関口啓介 中川竜夫 柳澤力
川口亜希子 太幡英亮 石川秀樹 黒野有一郎 各委員長・副委員長
水野豊秋 吉元学 両監査

委任状出席: 生津康広 会長補佐 金山美登利 花井秀哲 井村正和 恒川和久 各委員長・副委員長

オブザーバー: 尾関利勝 顧問 岩井隆浩 愛知賛助会

欠 席 :

議 長 : 近藤万記子

議事録作成: 高木耕一

議事録署名人: 柳澤力 川本直義

前回議事録確認: 2025年度第9回議事録

議 事

1. 地域会長挨拶

- ・次期会長候補に松山将勝さんが選任された。5月の東海支部・愛知地域会総会には佐藤会長と松山次期会長候補が出席し、「JIAの未来について語る」ことが決まった。3月18日に新資格制度「ジャパンアーキテクト」について2会合意と記者発表があった。2028年度の運用開始を目指している。支部会費について支部役員会で方針が決まった。総会に向けて会員に周知して行く。地域会の新体制も決まりつつある。

2. 審議事項

- ① 事業報告 JIAマイクラこども建築家プログラム (寺田) 資料-A
 - ・3月7日愛知県児童総合センター大ホールでエスキースと発表会を実施。小学生7名、保護者を含め20名弱の参加。小学生と建築家と一対一でエスキース、発表、講評、建築家の仕事紹介、最後に終了証を渡した。参加者からは建築家と対話でき、多くの作品を共有できことに評価の声があった。
 - ・審議にて承認された。
- ② 事業報告 猪高小学校建築教室「みんなでランドマークをつくろう」(中川) 資料-B
 - ・2月25日猪高小学校で実施。愛知11名、岐阜2名、JASC2名、学生11名、PTA6名の参加。今年は1日間の授業であったが充実した事業となった。来期も改善しながら実施予定であるが、学校改修工事が実施されるため調整が必要。
 - ・支出に交通費9,360円を加え計17,939円を地域会支出とすることで審議にて承認された。
- ③ 事業報告 武豊線亀崎駅駅舎保存計画に関する建物調査業務(川口) 資料-C
 - ・JR東海より依頼を受けて、日本最古の駅舎の痕跡、工法、材料、保存のあり方について調査。JIA建築家大会千葉の保存再生会議から紹介。本部会長の委任を受けて契約(JR東海建設)。契約期間は3月10日から20日まで。3月12日、修復塾修了者(原氏、澤村氏、後藤氏、吉元氏、柳澤氏、川口氏)の6名が3班に分かれて調査を実施。今年度報告書を提出予定。
 - ・審議にて承認された。
- ④ 事業報告 建築家+ (プラス) 第4号(森) 資料-D
 - ・2023年3月から住宅研究会と建築家プラスWGと協働にて推進。テーマは住宅。WEBサイトも同時に立ち上げた。発行までに2年かかったこと、テーマが大きかったこと、物価上昇などもあり、発行部数の調整も行ったが事業計画より123,078円超過した。超過費用についても地域会と住宅研究会で二分の一ずつ負担する。
 - ・審議にて承認された。

- ⑤ 2026—2027 年度委員会構成および所属希望の確認について（川本） 資料—E
- ・ 4 月 10 日までに所属希望を募る。建築家プラスWGは次号の見通しが付くまでは休止。承認後に会員へ送信する。
 - ・ 審議にて承認された。

3. 協議事項

- ① 支部会費導入について（野々川） 資料—F
- 支部会費に関する会員集会およびアンケートの実施報告
「支部会費導入のお知らせお願い」案内文、意見書（吉元）
- ・ 愛知会員に向けてメールにて「支部会費に関する会員集会およびアンケートの実施」を報告。議事録やアンケート結果なども含め愛知会員へ共有済み。
 - ・ 浅井支部長より「持続可能な支部運営に向けた「支部会費」導入のお知らせとお願い」が ARCHITECT 4 月号に同封された。支部会費年額 18,000 円を導入する方針について会員に理解をお願いしている。18,000 円の内 15,000 円は各地域会へ分配することになる。
 - ・ 吉元監査より支部宛に意見書が提出された。
 - ・ 役員会では特に付帯意見はなかった。
- ② 2026 年度通常総会議案書案（野々川・川本） 資料—G
- 2025 年度事業報告（決算除く）、2026 年度事業計画・予算・役員等構成
- ・ 2026 年度通常総会議案書案について意見があれば 4 月 3 日までに。
 - ・ 総会は 5 月 22 日開催。書面評決は 5 月 15 日。事業報告では支部会費に言及した。
 - ・ 次回 4 月 17 日の愛知役員会で審議。
 - ・ 2026 年の事業計画は先回 2 月 27 日の愛知役員会で協議済み。
 - ・ 基本方針 2 つ、「地域との繋がり強化・地域と建築家の将来を見据えた活動」、「地域会の活性化と持続化」。木造仮設住宅の試作検討を盛り込んである。
 - ・ 2026 年度役員について一部未定の部分があるが、顧問水野氏、地域会長川本氏、副会長・幹事長関口氏、副会長笹野氏・中澤氏・間瀬氏、監査石田氏・吉元氏、会長補佐西村氏、直前地域会長野々川氏の予定（その他の予定人事は役員会資料を参照）。
 - ・ 副会長の各委員会での職責を明確にすること。（水野監査）
 - ・ 愛知賛助会会長はユニオン堀田氏から後任に YKKAP 山口氏。（

4. 専決事項（後援名義・広告掲載・協賛など）

- ・ 特になし

5. 報告事項

(1) 委員会、研究会、WG 報告.

- ① 総務委員会（内藤）
- ・ 3/23 委員会、4/13 委員会予定
- ② 広報委員会（東福、川本）
- ・ 3/26 委員会、3/18 若手建築家座談会（ARCHITECT 連載記事に代わる特集）、4/16 委員会予定
- ③ 職能・資格制度委員会（関口）
- ・ 2/26 委員会、3/7 マイクラこども建築家プログラム（マイクラから建築の新たな可能性を学ぶことができた）、3/30 委員会予定（関東小山氏を招き RIBA の実情を共有）、3/11 賛助会役員会参加
- ④ 事業委員会（中川）
- ・ 3/24 委員会、4/22 委員会予定、4/8 賛助会役員会参加予定、5/30 瑞穂区・葵大学共催の子どもワークショップに協力予定
- ⑤ 建築相談委員会（柳澤）
- ・ 今月の相談は 1 件、4/24 愛知県災害復興士業連絡会オブザーバー参加予定
- ⑥ 住宅研究会（森）
- ・ 建築家プラスの発送作業、4/27 委員会予定
- ⑦ 保存研究会（川口）
- ・ 委員会の開催はなし、3/11 本部の保存再生会議、4/8 修復塾・保存再生会議合同開催
- ⑧ 大学 WG（太幡）
- ・ JIA 大学授業 2025 年度終了、学生数 50 名（内他大学 1 名）、2026 年度 R8 年 9 月 28 日～R9 年 3 月 31 日

- ⑨ 行政 WG (恒川)
 - ・報告なし
- ⑩ 建築家+WG (石川)
 - ・4号発行完了、発送作業
- ⑪ まちづくり WG (黒野)
 - ・建築家プラスを豊橋のまちづくり拠点で取り扱ってもらう予定
- ⑫ ホームページ WG (近藤)
 - ・3/5・3/18 会議、4/7 会議予定、4/17 役員会にて中間報告予定
- ⑬ JIA 愛知・賛助会 (岩井)
 - ・2/27 CPD 研修会 (対面 12 名+WEB10 名参加) (懇親会 12 名+賛助会 6 名)、3/11 賛助会役員会、3/31 愛知地域会ゴルフコンペ、4/8 賛助会役員会予定

(2) その他報告

- ① 種別変更届 正会員からシニア会員 畠山成好 (内藤) (共有) 資料-H
- ② 退会届 正会員 伊藤彰彦、沼尾益拓 (内藤) (共有) 資料-I
- ③ 地域会監査日程について (野々川)
 - ・4月8日(水)14:30 から開催。水野監査、吉元監査、野々川会長、川本次期会長候補、笹野総務委員長出席
- ④ アーキテクト広告の地域会負担について (野々川) 資料-J
 - ・試算では静岡 180,000 円、愛知 1,320,000 円、岐阜 50,000 円、三重 90,000 円、合計 1,640,000 円のところ、実績値は愛知 1,080,000 円で▲240,000 となり、支部での負担について協議した結果、愛知地域会が 50,000 円を負担することになった。
- ⑤ 事業経過報告および事業活動助成「木造仮設住宅デザイン提案大競技会」(吉元・野々川) 資料-K
 - ・年度を跨ぐ事業であり報告することにした。収支は愛知地域会支出 90,000 円の予定。
- ⑥ 名古屋市立大学「非常勤講師委嘱(依頼)」(野々川) 資料-L
 - ・今年も非常勤講師の依頼があった。
- ⑦ 愛知県災害復興支援士業連絡会設立に関する覚書 (柳澤) 資料-M
 - ・愛知県災害復興支援士業連絡会設立に関する覚書を提出したが、但しオブザーバー参加とすることを付記した。正式参加については今後の3会での協議による。
- ⑧ 愛知県建築物地震対策推進協議会事務局変更について (近藤)
 - ・4月1日より事務局は、愛知県建築局公共建築部住宅計画課となる。

6. 支部・本部報告 (野々川)

第8回支部役員会議事録案 (共有) 資料-N
 前回記録の確認：第7回支部役員会議事録

支部長挨拶

・3月19日開催。新資格制度、会長候補選挙の投票率が50%であったなどの報告があった。

(1) 審議事項

- ① 入会届 正会員「井端菜美(岐阜)」(山田(浩)) (共有)資料-1
 「原 芳洋(静岡)」(石橋)、「三谷裕樹(愛知)」(野々川)、
 永治祐太(岐阜)」(山田(浩))、「前野将輝(三重)」(出口) 【メール審議済】
- ② 法人協力会員「(有)ビーセラミック(愛知)」(野々川) 【メール審議済】 (共有)資料-2
- ③ 【修正】 亀崎駅駅舎保存計画に関する建物調査業務 事業計画について(澤村) 【メール審議済】
 資料-3
- ④ アーキテクト新期契約書 覚書 (西村) 【メール審議済】 資料-4
- ⑤ ホームページ契約書 (近藤) 【メール審議済】 資料-5
- ⑥ 『「支部会費」導入のお知らせとお願い』案内文について (浅井) 資料-6

(2) 協議事項

- ① 2026年度東海支部・各地域会の監査は4月15日で調整中 (西村) 資料-7
- ② アーキテクト広告収入について (浅井) 資料-8

(3) その他

① 名誉会員推薦について（西村）

② 2026年度 東海支部通常総会議案書について（西村）

(4) 本部報告

① 第335回理事会（3/11）（西村）

資料-9

- ・若い会員が増えて正会員3074名となった。
- ・東海支部のフェロー会員は長尾氏、森氏、浅井氏が承認された。
- ・特定費用準備資金等取扱規定が廃止されて公益充実資金取扱規定制定が承認された。
- ・各支部の事業計画案が報告されたが、共通で組織改革や横断した活動が挙げられていた。
- ・一般社団法人BIM標準情報活用協会の団体会員入会が承認された。

（その他別紙資料参照）

② 選挙管理委員会（2/25）（石田）

資料-10

③ 財務委員会（3/3）（水野）

（一部共有）資料-11

④ 住宅等連携会議（2/18）（近藤）

資料-12

⑤ 環境会議（3/10）（石橋）

資料-13

(5) 支部報告

① 支部会費導入スケジュール（西村）

資料-14

② 各地域会からの報告（各地域会長）

静岡地域会 愛知地域会 岐阜地域会 三重地域会

資料-15

③ 種別変更届 正会員→シニア「谷 進(愛知)」「畠山成好(愛知)」(野々川)

(共有)資料-16

④ 退会届 正会員「伊藤彰彦(愛知)」「沼尾益拓(愛知)」(野々川)

(共有)資料-17

⑤ 転出 ジュニア会員「伊藤(青木)由佳(静岡)」(関東甲信越支部へ)(石橋)

(共有)資料-18

⑥ 本部委員について（浅井）

資料-19

⑦ 新規ZOOM設定について(委員会用)（西村）

資料-20

⑧ 支部のお知らせ

- ・東海学生卒業設計コンクール二次公開審査会 4月11日開催
- ・5月22日、支部通常総会開催、会場はアパホテル名古屋栄駅前 EXCELLENT

7. 監査意見

水野監査：今回はWEB参加者が多く会議にならないと感じた。関東は4割の方が地域会に属していないとのことで、規則や財務のことを理解していない方がいる。といったように全国で活動や認識に差があることを改めて認識した。地域会の存在を明文化する必要がある。

吉元監査：会員が減少している中で、本部活動に於いて、委員会などのミッションを吟味し、順位付けを行い、活動を整理していくことを提案している。このことは地域会に置き換えても同様である。そして単一会としては本部からの目標と、会員からの意見が通い合うと組織の新しいあり方にならないかと思う。

尾関顧問：前期の役員の方はお疲れ様でした。会員数の増強を考えて行きたい。

次回役員会 2026年4月17日(金) 16:30~18:15 (WEB 会議併用)

※4/17 役員会は新旧役員合同出席

次回議事録担当委員会：建築相談委員会

(次回総務委員会：2026年4月13日(月) 18:00~)

資料提出先：笹野直之 総務委員長

議事録作成 高木耕一
 議事録署名人 川本直義
 議事録署名人 柳澤力